

校内研究（平成24年度）

大津市立晴嵐小学校

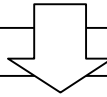
研究主題：社会との関わりの中で、自ら求めて学ぶ子どもの育成」

～ 社会科・生活科を通して生き方を学ぶ授業の創造～

主題に寄せて

（国語科：『伝え合う力(コミュニケーション力)の育成』）

国語科で、限定された授業という枠の中では生き生きと「伝え合う」ことができるようになった子どもたちであるが、普段の生活においてその力が十分に活用できているとは言えない。的確な言葉でコミュニケーションがとれないことから起こるトラブル、自己中心的な言動や行動、一面的なものの見方や考えしかなく、相手の立場まで考えられない子ども、判断基準や価値の低さ、パターン化されたものから進化できない子ども。そんな日常があちらこちらで多く存在していた…。



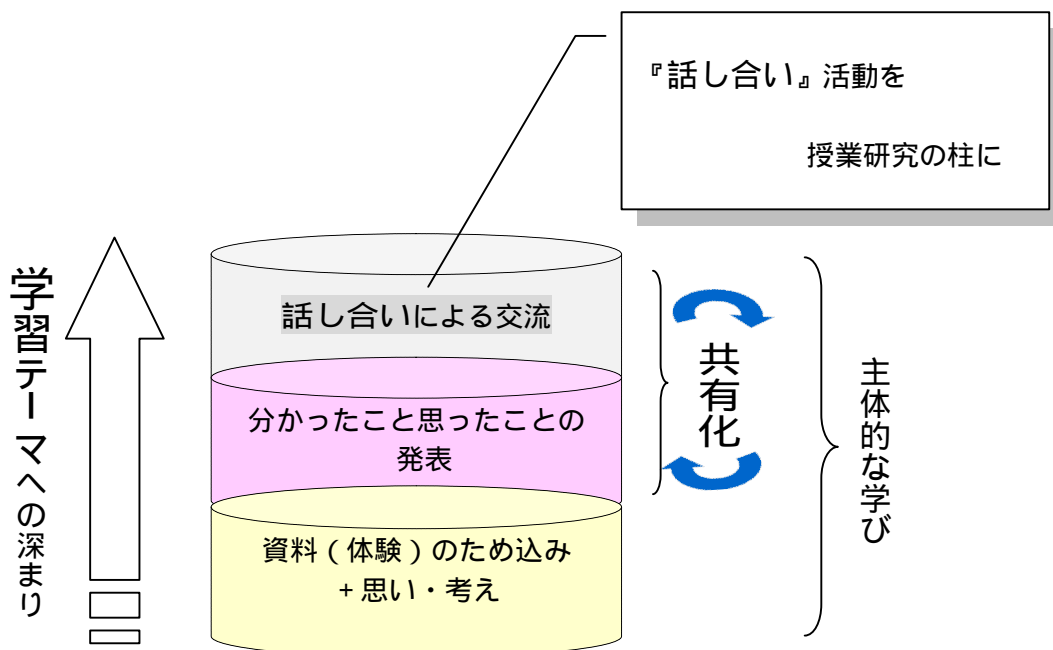
（社会科・生活科：『主体的な学びと共有化』） 平成20年度～23年度

国語科から『社会科』に研究の切り口を変えたとしたら、本校の子どもが抱える課題である「子どもたちが自身の生活を振り返ったり自ら考え実践したりする力」を伸ばす授業研究に、より迫れるのではないだろうかと考えた。なぜなら、社会科では、自分がいるような立場に立って考えることで、人やものとのつながりを認識し、よりよく人とつながる生き方やまわりと共に生きていることを実感することができるからである。さらに、社会科は「何を」「どのように」という部分において限定がないため、子どもの実態や興味関心に合わせて、何より教師が自由に授業をデザインできるという大きな特性がある。

過去4年間の研究の推移

平成20年度	社会科 生活科	主体的な学びと 共有化	資料からの知識や体験から、わかったことを発表し合う授業が多かった。
平成21年度			「共有化、話し合い」により子ども達の考えが深まっていく場面の授業もあった。
平成22年度			前年度を踏まえ、「共有化、話し合い」により子ども達の学習がより深まるような授業作りに取り組んだ。
平成23年度			さらに、「共有化、話し合い」により子ども達の学習がより深まるような授業作りに取り組んだが…、『話し合い』場面での高め合いが弱かったのではないか…。

研究の構想



授業研究テーマ：話し合いから学び合いへと高め合う授業づくり

研究の Key Word

「話し合い活動」を柱に

「話し合いから学び合いへ」

授業公開

全体公開授業・・・各学年から授業提示・授業研究会

個人公開授業・・・1人1授業

目指す子ども像

共有化・話し合いによって考えが深まる、生活科・社会科の目指す子ども像

学年	話す (調べたことをもとに、自分の考えをまとめ発表する。)	聞く (友達の発表を聞き理解した上で、また考える。)	深める (話し合いを繰り返すことで、テーマについての理解、考えを深めていく。)
1	<ul style="list-style-type: none"> 自分の見つけたこと、気づいたことをはっきりと発表できる。 わけをつけて話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表をしっかりと聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表に、感想を持つことができる。 分からないことを質問することができる。 身近な人やもののよさに気づくことができる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたこと、分かったことに自分の思いを付け加えて発表できる。 ・自分の聞きたいことをはっきりさせてインタビューできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を、興味を持って聞くことができる。 ・友達の調べたことと、自分の調べたことを比べながら、聞くことができる。 ・インタビューで相手の話したいことを正しく聞ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことや、分かったことを発表によって友達と教え合うことができる。 ・友達の発表を聞いて、付け足しや異なる意見を発表できる。 自分たちの町や、友達の良さに気づくことができる。 話し合い活動を通して、自分のできそうなことを考え、やってみようとする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地図や資料をもとに考え、発表ができる。 ・直接見ていないことでも、推測して考えを発表できる。 ・自分の生活経験などをもとにして考え、発表できる。 ・見学したことをもとに、働く人の仕事や工夫を発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を、自分が見つけたことと似ている点、異なる点に注意して聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を自分の言葉に置き換えて、付け足し、反対の発表ができる。 ・友達の考えを聞いて、自分の考えを変えることもできる。 働く人の立場に立ち、工夫や思いについての意見を出し合える。 働く人の工夫や思いを知り、自分の考えを発表することができる。 友達の意見のよさに気づくことができる。 自分達の市の良さについて考え意見を出し合える。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ、表などから読み取った内容を発表できる。 ・調べたことを自分なりにまとめ、思いを加え発表できる。 ・話し合いのテーマや目的意識を持って発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の調べたことや考えを、自分の調べたことや考えと比べて聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞き、それをヒントによりよい考えを発表できる。 ・自分の調べた内容を生かし、理由をつけて発表できる。 自分と公共施設との関わりに気づいた意見を出し合える。 自分達のくらし方について意見を出し合える。 自分達の県の良さについて考え意見を出し合える。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことの中から、自分の考えを説明しやすい資料を選んで発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見を自分の意見と比較しながら、共感的・批判的に聞くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自の発表から、テーマ全体に関わることを考え話し合える。 ・話し合いの中から、新しい課題を見つけることができる。 ・友達の発表を聞き、自分との相違を明らかにした上で意見を発表できる。 これからの自動車について調べた内容と自分達の生活との関わりについて、考えを深めていける。 日本の食糧問題を調べ、自分達の生活と世界のつながり、これからの食料生産のあり方を考えることができる。 琵琶湖の水質汚濁と自分達の生活の関わりや水の浄化のために、自分達ができることを考えることができる。 自分達の国の良さについて考え意見を出し合える。

6	<ul style="list-style-type: none"> ・その時代の様々な人の立場に立って、意見を発表できる。 ・ひとつの事柄について様々な角度からの考えを発表できる。 ・根拠を明らかにして発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識を持って友達の意見を自分の意見と比較しながら聞くことで、自分の考えをより深めたり、新たな考えを生み出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や自分の考えを合わせて、新しい考えや学習課題を見つけることができる。 ・話し合いをしていく中で、みんなの考えをまとめる発言ができる。 話し合いの内容と今の自分の生活とを照らし合わせて、自分の生き方に関わった発言ができる。 身近な情報や社会現象の意味をより広い視野から考えることができる。
---	---	---	---